

共同研究プロジェクト研究会報告

タイトル：「宣教に伴う言語学 第二期」（平成 21 年度第 1 回研究会）

日時：平成 21 年 11 月 16 日（月曜日）13:30～17:30

場所：AA 研 306 室等

研究報告:4 件

報告者名：折井善果(AA 研共同研究員・日本大学商学部講師)

報告タイトル：『ひですの経』について

報告者名：豊島正之(AA 研所員)

報告タイトル：「ひですの経」ホートン図書館本の書誌と版式

報告者名：白井純(AA 研共同研究員・信州大学人文学部准教授)

報告タイトル：「ひですの経」の仮名活字について

報告者名：森上修(近畿大学日本文化研究所講師)

報告タイトル：キリシタン版の活字鑄造について

70 年近く行方不明で内容も知られていなかったキリシタン版「ひですの経」を、折井善果が 2009 年 7 月に米国で再び見出した事により、本研究会は同書に特化したものとした。本書に書誌学的調査、及び内容の思想史検討を加える報告 3 点、並びに、活字印刷史の権威である森上氏による活字鑄造再現実験の解説を承け、「ひですの経」の翻訳底本、組版技術、活字製造技術等に就て、詳しい検討を加えた。研究会は、綿密な質疑と活発な議論に終始し、「ひですの経」の翻訳・印刷に就ての新見が多く提出された。その一部は、2010 年中に出版される予定の「ひですの経」複製解説として公表される予定である。